

各領域の戦略

領域	2025年度の目標
1. 教育	
① 3つのポリシーとコンピテンシーの実質化	1) 教育WSの開催(1回)と次年度カリキュラムの検討 2) カリキュラム研修WSの実施計画 3) 試験問題作成WSの開催 4) 各種FD(歯科医学教育セミナー、教員オンラインテスト等)の開催 5) リサーチマインド養成のためのカリキュラム推進や卒業論文奨励 6) 教育成果に関する第三者評価の実施 7) 共用試験の適切な実施(教員へのFD、修学指導方針説明会での説明、学内における模擬患者要請、評価者認定講習会の継続的受講)
② 入試制度の見直し	1) 入試制度について検討を継続(入試検討委員会の開催)
③ 高大接続教育の充実	1) 糸魚川市との包括的連携に関する協議会の開催(2回)
④ 国際コミュニケーション力の育成	1) 英語 I、II の実施 2) 各専門教科における英語教育の充実の検討(教育WSによる検討) 3) 海外研修の機会の充実
⑤ 歯科界のリーダーとなるためのキャリアパスの構築	1) 卒業生アンケートの実施 2) キャリア支援教育の充実(3年生に対するキャリアセミナー)
⑥ 大学院教育の高度化と国際化に基づく研究人材育成	1) プレFDセミナーの実施 2) キャリアパスセミナーの実施 3) 日本学術振興会特別研究員に関する大学院セミナーの実施 4) 海外学会発表支援経費による一部旅費の補助 5) 「がんプロフェッショナル養成プラン正規課程3コース」による教育の実施
⑦ 学生の生活支援の充実	1) 学年代表意見交換会:対応の可否について、学生にフィードバックを実施 2) 学内施設の充実化(女子トイレの増設等)
⑧ 生涯教育	1) 同窓会主催のTDCアカデミア2025への協力 2) 同窓会との共催によるリカレント教育セミナーへの協力
2. 研究	
① 口腔科学研究センターを中心とした研究の集約化と研究支援体制の充実	1) 2025年度も引き続きウェルビーイングプロジェクトを推進し、口腔科学研究センターワークショップを開催。さらに、次のプロジェクトの方向性を検討 2) 機器のオペレーターについての体制等の検討
② 研究における学内外の連携体制の強化	1) 口腔科学研究センターの活用や、学外研究施設との共同研究を通じた歯科臨床に還元できる臨床研究、疫学研究および生命科学研究等の支援を実施
③ 研究成果に基づく知財創出と産学官連携推進のための体制構築	1) 引き続き知財創出と産学官連携推進のための体制を構築
3. 国際化	
① 教員と学生の国際交流の推進	1) 姉妹校、学術協力協定校との連携強化 2) Elective study、海外研修の実施計画(香港大学への学生派遣の実施計画等) 3) 他大学との姉妹校協定または学術協力協定締結へ向けての準備(空軍軍医大学(中国)との協定更新等)

各領域の戦略

領域	2025年度の目標
4. 医療	
① 高品質の医療提供	1) 水道橋病院における新医療系システムの活用による、患者サービス、患者管理の徹底 2) 市川総合病院における地域がん診療拠点病院として、医歯薬の連携をより強固なものとし安全・安心ながん診療の実行を継続 3) 市川総合病院におけるロボット支援手術に関して、手術を行う診療科を増やし手術件数の増加 4) 安心・安全な医療を実現するための教職員教育の継続 5) 医療倫理に対する教職員の意識向上の徹底 6) 医療事故防止のため病院間相互チェックを実施 7) 施設の効率的な運営を推進するために、診療科等のセグメント別収支の検証を実施
② 附属医療機関を中核とした病病・病診連携体制の強化	1) 水道橋病院における病診・病病連携のさらなる強化(医療連携報告会と意見交換会の対面での開催) 2) 市川総合病院における病診・病病連携をより充実させるためにカンファレンスに加え、歯科医師・医師と直接ディスカッションできる場を設置。意見交換会の実施の継続 3) 市川総合病院における地域医療支援病院として、昨年度は達成できなかった地域の医療機関からの入院要請患者の受け入れ率100%を実践
③ 臨床研究の推進	1) 臨床研究の推進をはかるために、講習会を開催し研究のフローを周知
④ 建学の精神を具現化する歯科界のリーダーとなる医療人材育成	1) 学部学生や新卒のドクターに対して、キャリアパスを示す機会を設定 2) 各学会認定医・専門医・指導医等の資格取得のための支援体制の充実 3) 3施設の特徴を有した臨床研修プログラムおよび医局員研修プログラムの充実 4) 協力型臨床研修施設に対する管理の徹底と質の充実
5. 社会貢献	
① 知財創出と産学官連携推進のための体制構築	1) 2025年度も引き続き知財創出と産学官連携推進のための体制を構築
② 地域連携	1) 引き続き千代田区との連携の深化を図りつつ、連携協定を締結している他大学との更なる連携も模索 2) 町内会との交流体制を維持・強化
③ 公的機関の審議会等における発信力の強化	1) 公的機関の審議会等における委員就任のための支援 2) 公的機関の審議会の委員や学会の役員などの就任状況の把握
6. 教学マネジメントとガバナンス	
① 迅速かつ適切な意思決定の仕組み	1) 法人と大学との連携を強化するための定期的な情報交換の実施
② 効率的かつ柔軟な人材配置	1) 教員・職員の適正配置 2) 育児・介護等に配慮した仕組の検討
③ FDとSDの推進	1) FDの実施 2) SDの実施
④ 教職員の評価	1) 教育職員活動目標及び評価の見直し 2) 事務職員「目標管理・自己点検評価」の継続実施
⑤ 教育研究環境の整備	1) デジタルデンティストリーを見据えた臨床基礎実習室整備計画の実施 2) スキルスラボに必要なシミュレータ等の新規導入の検討
⑥ ICTの強化と情報security	1) 情報セキュリティインシデント対応を行う組織(CSIRT(Computer Security Incident Response Team))の設置を見据え、各拠点における連携窓口部門の設置を検討 2) 事務部門の基幹業務DX化の推進 3) 本館における学術無線ネットワーク機器のリプレイス 4) 市川総合病院・千葉歯科医療センターにおける学術専用線(SINET)の新設およびSINETを利用した拠点間通信(仮想大学LAN)の構築
⑦ 将来計画	1) 法人による中期計画の進捗状況評価